

令和3年度 さいたま市立道祖土小学校
第2回学校運営協議会準備委員会 議事録

【日 時】 令和3年11月12日（金） 13時20分～14時20分

【場 所】 道祖土小学校 3階 第1図書室

【議事録】

○開会

○校長あいさつ（校長は校内対応のため不在により教頭が代弁）

- ・1学期から2学期にかけての学校の様子。
- ・本日のねらい及び準備委員会の位置づけ。

○コミュニティスクール立ち上げの話し合い

- ・「本校の児童に身に付けさせたい力」について
 - ・やはり、教育目標で示されたことを中心にすべきと考える。細かい点は少しわからないが、「明るく」という目標は大切である。
 - ・本校の目標は昔から続いている。学校はどれくらいこの目標を達成できていると考えるか。
→本校は地域にしっかり根付いていると感じる。卒業しても、例えば昔の先生に遊びに来るなど、本校に立ち返ってくる、というところがある。
- ・「心のふるさとさいど小」のスローガンは30周年の時に育成会で張ったものである。母校を誇りに思ってもらいたいという願いである。今の説明を聞いて安心した。育成会ではまた、子どもたちにいろいろな経験をしてもらいたいと思っている。
- ・最近の子どもたちを見ていると、たくましさが減っているなど感じる。自分はこの学校の最初の1年生だったが、昔の子どもは元気だったと思う。家庭によりさまざまな考えがあろうが、子どもが先に進もうとする力が弱くなっているのに、保護者も子どもを前に進ませようとしないように感じる。したがって、「たくましく」の部分で、言葉は変えつつ取り上げることがよい。
- ・公民館から見てもたくましさが減っているように思う。生きる力を育てたい。義務教育が終了するまでに。あとは、考える力である。グローバル社会にあっても、自分の力で切り開いていけるように。郷土愛があるのはたいへん結構なことだが、さらに生きる力を身に付けさせたい。
- ・中学校として同じように「身に付けさせたいこと」を決めているが、校長が地域からのアドバイスをもらいつつ決めて提示した。中学生が地域で貢献できるようになれば良いなど考えている。数字で表れる成績だけでなく、粘り強さややり抜く力、生きる力、チャレンジする力を高めたい。これまでともすれば地域は学校に頼ってきた面があるが、それでは進んでいけない。学校も地域も子どもの力を伸ばすために協力し合うことが必要だ。
- ・「仲良く」を推したい。情報通信が発達した現代であるが、相手を思いやったり、それを言葉で伝えたりすること、そのコミュニケーション力は、ますます必要となってきている。相手の立場を考え尊重するという仲良しの仕方ができるようにしたい。

○いじめ防止対策委員会定例会

- ・いじめ発見・指導・見守り・解消の実数についての報告。（教務主任より）
- ・「いじめ撲滅月間」における本校の取組についての説明。（教務主任より）

○学校評価について

・学校評価の趣旨について説明。(教頭より)

○質疑応答等

・特になし。

○事務連絡

・第3回学校運営協議会準備委員会 令和4年2月17日(木)

○閉会